

民主・市民クラブが提案する 福岡市政の 改革戦略

地域主権
戦略

生活保障
戦略

成長戦略

生活保障
戦略

生活保障に支えられるまち・福岡

～ひとり一人の命と幸せを大切にする社会～

生活保障に支えられるまち・福岡～ひとり一人の命と幸せを大切にする社会～では、家庭や地域の絆を大切に生活保障を行うことで、乳幼児期から人生の終焉まで「支え合いのネットワークから誰一人として排除されることのない社会」の実現を目指します。

4つの視点

子ども時代『愛と希望の抱ける子育てと教育』

具体的
施策

- **6つの政策提案：3** 義務教育期間に良好な就学環境を提供し、教育効果の向上を図るため、全市の市立小・中学校の**全教室にクーラーを設置**します。また、全市の小・中学校に設置されているトイレを4年間かけて、**洋式トイレの増設を中心に順次改修**していきます。
- 児童虐待防止を担う専門職員(児童福祉士、保健師等)を増強しまた地域と連携し早期に踏み込んで対応し、受け入れ施設を充実します。

高齢期『家族と地域と施設の連携による安心とやすらぎの高齢化社会』

具体的
施策

- **6つの政策提案：4** 日頃から健康診断等を受診し、健康増進に積極的に取り組む高齢者に対して、健康保険料の一部に相当する金額を還付する**「元気高齢者支援金」制度を新たに創設**します。
- 高齢者実態調査で特別養護老人ホームの待機者やグループホーム、在宅の要介護者状況を的確に把握・分析し、特別養護老人ホームやグループホーム、在宅介護支援の小規模多機能施設、宅老所について現実に即した適切な整備を実施します。

活動期『若者、女性、高齢者・障がい者が生きがいを抱ける雇用環境』

具体的
施策

- 新卒条件緩和企業、育児休暇取得優良企業、高齢者雇用促進企業の入札参加の総合評価のポイントの割合をインセンティブが動く程度に高めます。
- 障がい者の就労支援とともに就労率達成企業の社会的認知の促進に努め、ときめきプロジェクト(集客力のある公共や民間の場所を開放)を通じて障がい者施設商品の販売を積極的に推進し、障がい者の製品が身近にあふれる「ときめきシティ」づくりを進めます。

日常生活『高齢者や障がい者ひとり一人にやさしいまちの仕組み』

具体的
施策

- 子どもや高齢者や障がい者等、誰もが安心して街に飛び出し歩ける街をつくります。そのために、通学路の安全整備、歩道のバリアフリー化、電線の地中化、自転車道と歩道の分離など身近な公共事業を最優先に実施します。
- 交通難民対策/生活交通条例の趣旨に基づき**地域・交通事業者・市の共同で**、高齢化の進む交通不便地での乗合タクシーやコミュニティバスなどの導入をめざして社会実験を行い、社会実験の実証結果に基づき、受け入れ態勢の整った地域から順次、コミュニティ生活交通を導入していきます。

地域主権
戦略

地域主権を実感できるまち・福岡

～福岡市民が自ら発言し、議論し、決定できる社会～

地域主権を実感できるまち・福岡～福岡市民が自ら発言し、議論し、決定できる社会～では、官からの依存と分配による政治から脱却し、制度改革の原点となる「市民起点(シティズン・オリエンテッド)」を確立するために、「福岡市版・地域主権改革プログラム」によって福岡市議会改革・行政改革・市民自治改革を実行し、「市民の創造による政治」の実現を目指します。

3つの改革

福岡市議会改革

具体的
施策

6つの政策提案：1

- **「通年議会」**を開催し、議会での政策立案・審議の時間を増やします。また、議会活動の状況を定期的に伝えるために「**こんにちは、議会です!**(出張議会)」や「**議会報告会**」を地域で開催します。
- 議会の附属機関として「**議会改革諮問会議(仮称)**」を設置し、議会(議員)の役割や議員定数、議員報酬、政務調査費等の在り方を抜本的に見直します。

行政改革

具体的
施策

6つの政策提案：2

- **「福岡市行政刷新会議(仮称)」**を議会主導で設立し、福岡市の一般会計、特別会計、企業会計の全事業(約3,000事業)を見直します。会議メンバーは民間・有識者・公募で選ばれた市民で構成し、下記の4つの視点で議論を重ねたうえで、議論の結果を市長に提言します。
 - 「本庁-区役所-地域コミュニティの業務分担」の在り方
 - 「住民自治組織・NPO・企業との協働」の在り方
 - 「事業仕分け、規制仕分け、業務仕分け」の在り方
 - 「外郭団体の経営評価と改善」の在り方

市民自治改革

具体的
施策

- 各行政区に「**地域代表者委員会(仮称:行政との公開協議機関)**」を設置し、地域の意見を市政に直接反映できるようにします。
- 「**住民自治支援基本条例**」を制定し、市民生活を地域で支える自治会・町内会活動を全面支援します。

成長戦略

成長プラットフォームシティ・福岡

～アジアの成長を取り込む～

成長戦略「**新アジア時代の成長プラットフォームシティ・福岡**」では、福岡市の人材力とともに、アジアと近い地政学的な優位性、アジア施策で培ったネットワークを活かし、世界に貢献する東アジアの一大海洋経済文化交流圏を形成することで、本市のみならず日本の成長を牽引します。

4つの都市像

幅広い人の往来をうながす「ビジターズ・インダストリー都市」

具体的
施策

- 大濠公園、舞鶴公園整備と一体で、福岡のアジアに向けた接客空間として鴻臚館を復元し、ビジターに「歴史あるもてなし港都市(まち)」の都市性を明確に示します。
- 「アジア・フォーカス映画祭」の集客力を強化し、同時に「**アジア映画フェア(見本市)**」を開催し、映像関連産業の振興を図ります。さらに、蓄積のあるアジア近現代文化関連のメディア産業(出版、放送、プロダクション)を育てます。

新しい仕事を生み出し続ける「新産業発芽・苗床都市」

具体的
施策

- **6つの政策提案：5** 福岡市に本拠を置く中小企業が若年者(卒後3年以内)を雇用した際に、その給与の1割程度を2年間の期限付きで助成する「**若年者新規雇用拡大助成金**」制度を新たに創設します。
- 起業したばかりの企業や中小・零細企業の優れた製品を、よるこんで購入して頂ける顧客ターゲットを明確にするため、**マーケティング・データ完備によるビジネス支援事業**を実施します。

アジアの課題解決を行う「ソーシャルビジネス都市」

具体的
施策

- **6つの政策提案：6** 生活保護受給者の社会復帰を促進するために、市が率先してボランティアへの参画を促すとともに、ボランティアやNPO、事業者と連携しながらフォローする「**生活保護・社会復帰プログラム**」を新たに実施します。
- 福岡市が誇る水、ゴミなどの**公共技術**を輸出するためのコンソーシアム(官民共同による事業執行組織)を市誘導でつくり、大規模な公共技術を全体として輸出できる企業を育成します。

アジアスタンダードを確立する「人材育成都市」

具体的
施策

- 外国人が日本文化やアジア文化を学び文化理解を深めることができ、一般成人が先端技術や学問や起業ノウハウを学べ、再学習の入り口となる「**コミュニティ・カレッジ**」を設立します。
- アジアの近現代の文化研究では世界一を目指すなど、福岡にふさわしい世界水準の高等教育研究機関を市主導で設立し、特定分野で指導力のある「**人材吸引力のある人材**」の福岡在住ポストを確保します。